

新庁舎建設だより 7

南九州市新庁舎建設工事安全祈願祭

令和6年9月30日、新庁舎建設工事を着工するにあたり、市関係者および建設工事に係る各施工業者などが出席し、工事が事故なく無事に行われることを願い、南九州市新庁舎建設工事安全祈願祭が執り行われました。

仮設事務所が建てられ、今後、順次工事が進められていく予定です。



安全祈願祭の様子



仮設事務所建設の様子

南九州市新庁舎情報 # 1 ZEB について

新庁舎建設事業では、基本理念・方針の1つ「環境にやさしい庁舎」に向けた取組みとして、「NearlyZEB」を達成する建物（庁舎）を目指しています。今回の新庁舎建設だよりでは、「ZEB」についてお伝えします。

①なぜ「ZEB」なの？ ～2050年カーボンニュートラルの実現に向けたZEB化の必要性～

2020年10月

国が2050年カーボンニュートラルを目指すことを宣言

2022年4月

南九州市が「ゼロカーボンシティ」を宣言

2050年に向けて

新庁舎の計画で「NearlyZEB」を目指す

- 1 国が「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言。→南九州市は「ゼロカーボンシティ」宣言
- 2 カーボンニュートラルを実現するためには、建物から排出されるCO2削減が重要
- 3 建物のCO2削減の基準としてZEBが用いられることから、新庁舎のZEB化を計画

新庁舎のZEB化により、環境省の補助事業（建築物などのZEB化・省CO2化普及加速事業）に採択され、設備機器などの導入が支援されることとなりました。

カーボンニュートラルとは？

温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることを意味します。

二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることを意味しています。

ゼロカーボンシティとは？

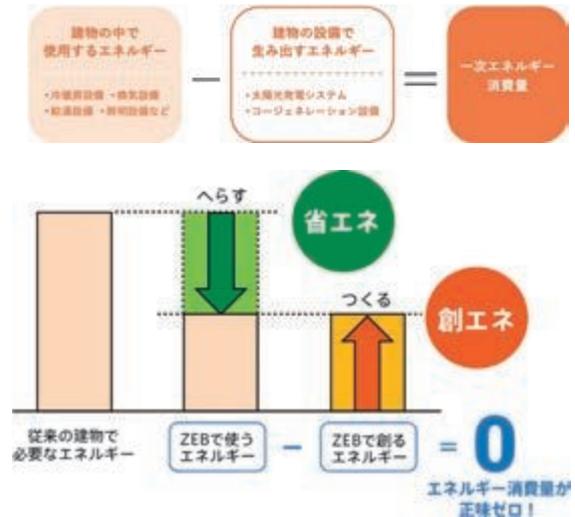
環境省では、「2050年にCO2（二酸化炭素）を実質ゼロにすることを目指す旨を首長自らがまたは地方自治体として公表された地方自治体」をゼロカーボンシティとしています。

② ZEB とは？

Net Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) の略称で、「ゼブ」と呼びます。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の※一次エネルギーの収支をゼロにすることを旨とした建物のことです。

建物の中では人が活動しているため、エネルギー消費量を完全にゼロにすることはできませんが、省エネによって使うエネルギーをへらし、創エネによって使う分のエネルギーをつくることで、エネルギー消費量を正味（ネット）でゼロにすることができます。

※一次エネルギーについて



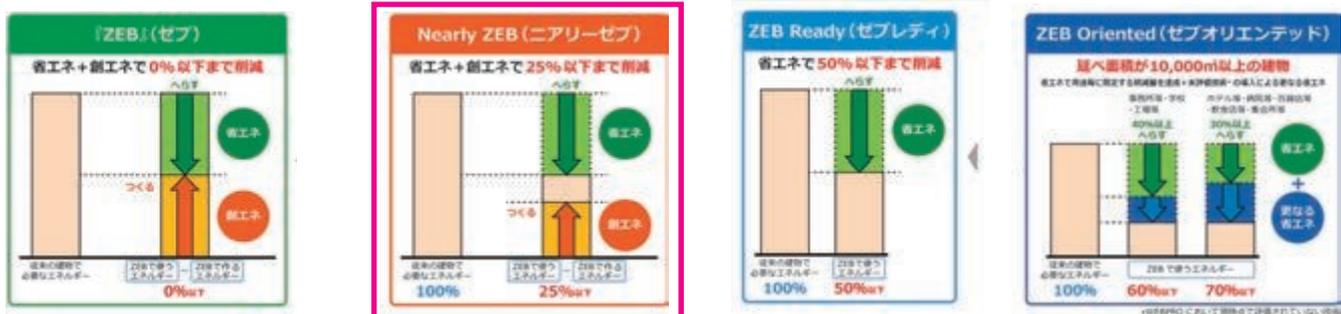
③ どうやったら ZEB がつくれるの？



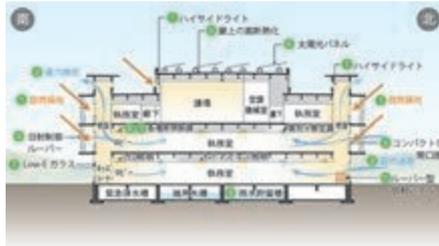
建物のエネルギー消費量を減らすためのさまざまな技術を適切に組み合わせて導入することで、ZEBを実現することができます。このZEBを実現するための技術は、消費するエネルギーを減らすための技術（省エネ技術）とエネルギーを創るための技術（創エネ技術）に分けられます。

④ 南九州市新庁舎が目指す「NearlyZEB」とは？

ZEBは、ゼロエネルギーの達成状況に応じて、4段階のZEBシリーズが定義されています。



南九州市新庁舎が目指す「NearlyZEB」は、エネルギー消費量を省エネ + 創エネで25%以下まで削減する建物になります。



南九州市新庁舎は、「機能的・経済的なコンパクト庁舎 + 環境にやさしい庁舎」を目指します！